

水木しげるの妖怪が横浜に大集結

代表作『ゲゲゲの鬼太郎』をはじめ多くの妖怪作品を生み出した水木しげる(1922 – 2015)は、「妖怪」という言葉が一般に広がるきっかけを作ったのみならず、その後も長きにわたり妖怪ブームの原動力を担い続けました。水木が描いた日本の妖怪は実に 1,000 点近くにのぼります。

生誕 100 周年を機に企画された本展は、これまで開催されてきた数ある水木しげる展の中でも初めて、その妖怪画制作の具体的手法に注目し、水木しげるの豊饒な作品世界を解き明かす内容となっています。百鬼夜行の名にふさわしく、水木の妖怪画 100 点以上を一挙公開する他、水木が妖怪画を描く参考として収集した書籍や関連資料、妖怪文化人の系譜と著作などを展示いたします。また、NHK E テレ「てれび絵本」より本展用に特別編集された「水木しげるの妖怪えほん」、妖怪への思いを語った水木しげるのインタビュー映像をご覧いただけます。

現代の日本人に「妖怪」という文化を根付かせた水木が、どのように妖怪と向き合い、描いてきたのか、本展を通して妖怪を身近に感じ、今なお多くの人を魅了し続ける水木の世界観をご堪能ください。

■本展のお問い合わせ

そごう美術館 〒220-8510 神奈川県横浜市西区高島 2-18-1 Tel. 045-465-5515 / Fax. 045-465-2298

担当:二宮(kazue-ninomiya@sogo-seibu.co.jp) 三瓶(hiroyuki-sampei@sogo-seibu.co.jp)

プレス内覧会(事前申込制)

原口尚子氏(水木しげる氏長女)をお迎えし、ギャラリートーク(本展の見どころ・作品解説)を予定しています。

開催日時 2024年1月19日(金) 午後3時~4時30分

スケジュール 午後 2 時 45 分~ 受付開始

午後3時~3時30分 ギャラリートーク

午後 3 時 30 分~4 時 30 分 自由内覧

内覧会のお申込は https://www.artpr.jp/sogomuseum/event_preview/entry/320/329

■開催概要

展覧会名 水木しげる生誕 100 周年記念

水木しげるの妖怪 百鬼夜行展 ~お化けたちはこうして生まれた~

(注) 水木しげるの妖怪 百鬼夜行展 の展覧会名の表記について 「妖怪」と「百鬼」の間の文字間は、一行で表記する場合は、全角ではなく「半角アキ」指定です。 「夜行」の3ミは、本展では「やこう」です。

会 期 2024年1月20日(土) — 3月10日(日) *会期中無休

開館時間 午前 10 時~午後 8 時 (入館は閉館の 30 分前まで)

※そごう横浜店の営業時間に準じ、変更になる場合がございます。

会 場 そごう美術館 (横浜駅東口・そごう横浜店 6 階)

〒220-8510 横浜市西区高島 2-18-1 電話 045 (465) 5515[美術館直通]

入館料 事前予約不要

(税込) 一般 1,600 (1,400) 円、大学·高校生 1,400 (1,200) 円、中学生以下無料

- * () 内は、前売および以下をご提示の方の料金です。 [クラブ・オン/ミレニアムカード、クラブ・オン/ミレニアム アプリ]
- * 障がい者手帳各種をお持ちの方、およびご同伴者 1 名さまは無料でご入館いただけます。
- * 前売券は、2023 年 11 月 15 日(水)から 2024 年 1 月 19 日(金)まで、そごう美術館または公式オンラインチケット、 セブンチケット、ローソンチケット、イープラス、チケットぴあにてお取り扱いしております。

▶公式オンラインチケット https://www.e-tix.jp/sogo-seibu mizuki/

主 催 そごう美術館、NHK 横浜放送局、NHK プロモーション、神奈川新聞社

後 援 神奈川県教育委員会、横浜市教育委員会

協力鳥取県、神奈川大学

企画協力 水木プロダクション

協 賛 ㈱そごう・西武

►X (IETwitter) @sogomuseum ►HP https://www.sogo-seibu.jp/common/museum/

- *ご入館前にそごう美術館ホームページおよび会場入口掲示の「ご入館の際のお願い」をご確認ください。
- *展覧会・イベントの中止や延期、一部内容が変更になる場合がございます。
- *最新情報は、そごう横浜店ホームページ・そごう美術館ホームページをご確認ください。

◆妖怪画約 100 点が勢ぞろい

~百鬼夜行の妖怪たち~

◆妖怪画の具体的な3つの創作手法を初めて紹介

~「絵師たちからの継承」「様々な資料から創作」「文字情報から創作」~

◆水木しげるの蔵書で辿る妖怪文化の歴史

~江戸時代の絵師・鳥山石燕『画図百鬼夜行』、昭和初期の民俗学者・柳田國男『妖怪談義』ほか~

■展示構成■

第1章 水木しげるの妖怪人生

なぜこれほどまで水木しげるは妖怪にこだわり続けたのでしょうか。漫画家であり、妖怪絵師であり、妖怪研究家である水木しげるの、「妖怪に興味を持つようになった幼少期の境港時代」「生死を彷徨った従軍時代」「貧困の貸本漫画家から一躍人気漫画家となった時代」を通して、その理由の片鱗を探ります。

第2章 古書店妖怪探訪

水木しげるは、神田の古書店街を頻繁に訪れ、妖怪に関する書籍を探して研究、制作に繋げていました。

本章では、古書店で購入した鳥山石燕の『画図百鬼夜行』や柳田國男の『妖怪談義』をはじめ、水木所蔵の妖怪関連書籍の展示と、それらを手がけた絵師や研究者など妖怪文化人についてを紹介します。

第3章 水木しげるの妖怪工房

晩年までに 1,000 点近くの日本の妖怪を描いた水木しげる。それらには必ず根拠となるものが存在しました。昔の絵師が描いた形のある妖怪は、そのデザインを尊重し、民間伝承の言葉や文章だけの形のない妖怪は、様々なものからヒントを得て姿を与え、さらに妖怪の実在感を出すためにその背景を描きこみました。

本章では、水木による妖怪画の創作手法を「絵師たちからの継承」「様々な資料から創作」「文字情報から創作」の3 つのパターンに分けて考察します。

第4章 水木しげるの百鬼夜行

水木しげるの妖怪画を存分に味わえる章として、「山」「水」「里」「家」それぞれに棲む妖怪ごとに展示します。水木が描いた妖怪画を心ゆくまでお楽しみください。

その他

●映像

「古書店と水木しげる」 荒俣宏(博物学者・作家) 「目に見えないものを描くために」 京極夏彦 (小説家) 水木しげるの妖怪えほん NHK E テレ「てれび絵本」より 水木しげる氏インタビュー映像 (映像提供 NHK)

●〈妖怪カメラ〉AR コーナー

XR 観光体験アプリ「ストリートミュージアム®」〈妖怪カメラ AR〉を使って、隠れている妖怪を探し出し、 出現した妖怪の写真撮影ができるコーナー

■関連企画■

●水曜・木曜限定お楽しみ企画 水木スペシャル

展覧会オリジナル【妖怪カード】プレゼント

会期中の水曜・木曜にご入館の各日先着 100 名さまに

展覧会オリジナル【妖怪カード】を会場受付にてプレゼントいたします!

*カードの種類は選べません。(全12種) *おひとりさま各日1回1枚限り。*なくなり次第終了。

カード製作協力:名古屋市博物館、中日新聞社

●開幕前日に50名きま限定の特別な2時間

ギャラリートーク付 先行特別鑑賞会 要事前予約

開催日:2024年1月19日(金)

開催時間:午後5時~7時(会場内自由鑑賞)

★ギャラリートーク 5時30分~(約40分の予定)

原口尚子氏(水木しげる氏長女)

参 加 費: 2,000 円(税込/入館料込)

場 所:そごう美術館 展示室内

定 員:50名

申込方法:e-tix 公式オンラインチケットによる事前購入。

2023年12月1日(金)より販売開始。定員に達し次第、販売終了。

https://www.e-tix.jp/sogo-seibu_mizuki_tokubetsu/

※取材・撮影が入る場合がございます。※やむを得ない事情により内容が変更になる場合がございます。

講演会(外部会場企画)

●神奈川大学にて開催 京極夏彦氏による特別記念講演会

「水木しげるの妖怪 百鬼夜行展~お化けたちはこうして生まれた~」

日 時: 2024年1月27日(土)午後2時~3時30分

講 師: 京極夏彦氏(小説家)

会 場: 神奈川大学 みなとみらいキャンパス 1 階ホール

受 講 料: 4,000 円 ※展覧会入館券・オリジナルグッズ付き

(ただしインターネット申し込みの場合は 1,000 円引きになります)

申込方法:神奈川大学 KU ポートスクエア

① インターネット 「KU ポートスクエア」

https://www.ku-portsquare.jp/site/course/detail/4206/

② 電話 045-682-5553 (KUポートスクエア) または 045-664-3710 代表 (神奈川大学社会連携部)

- ※定員に達し次第、締め切りとなります。
- ※本講演会に関するお問い合わせは、神奈川大学 KU ポートスクエアまでお願いします。

■グッズ■

公式図録



水木しげるの妖怪 百鬼夜行展図録 2,200 円(税込)

判型: A4 タテ 並製本 ページ: 表紙+本文 96P

充実の展覧会限定グッズ!



展覧会キービジュアルのグッズ。

百鬼夜行感あふれるイラストを多彩なアイテムにて展開。





アクリルジオラマ



- パーカー
- *数に限りのある商品もございますので、売り切れの際はご容赦ください。
- *写真と実物では色・デザイン・素材感が異なる場合がございます。あらかじめご了承ください。

■広報画像

No.1~10 の画像の使用には専用の「広報用画像使用申請書」の提出が必要となります。

① ARTPR より登録・申し込みいただき、「画像」および「広報用画像使用申請書」を入手ください。

ARTPR https://www.artpr.jp/sogomuseum/mizuki2024

② 「広報用画像データ使用申請書」と「御社作成の校正用原稿」を同時にメールにて、そごう美術館以下担当 2 名宛に送付ください。確認にお時間を要するため、お早めにお願いいたします。

学芸担当:二宮 <u>kazue-ninomiya@sogo-seibu.co.jp</u> 広報担当:三瓶 hiroyuki-sampei@sogo-seibu.co.jp

<mark>ⓒ水木プロダクション</mark>の記載をお願いします。※個別画像につける必要はありませんが、記事内のどこか 1 カ所には必ず記載ください。

- ③ 関係各所校正確認後、承認印押印済の申請書と校正のお戻しをいたします。
- ④ 最終校正が済み次第、掲載をお願いいたします。

1	2	3	4
《あかなめ》	《一反木綿》	《がしゃどくろ》	《海坊主》
©水木プロダクション	©水木プロダクション	©水木プロダクション	©水木プロダクション
風呂桶の垢をなめる妖怪。	長い布のようなものが空を飛び、時には人を襲うという鹿児島の妖怪。	埋葬されなかった者の骸骨や怨念が 集まり巨大な骸骨となってガシャガシャと音を立てさまよう。	全国各地の海上ご現れる妖怪。 出現したら黙って見ないようこしなければならず、驚いて叫ばきものなら、たちまち船はひっくり返されてしまう。
5	6	7	
鳥山石燕『画図百鬼夜行』 1776年 水木しげる蔵	柳田國男『妖怪談義』 修道社 1958年5版 (初版 1956年) 水木しげる蔵	水木しげる ©水木プロダクション	
三冊一組の絵本。過去の絵巻物や 妖怪本などこある妖怪、民間伝承の 妖怪などが一ページに一つずつカタロ グ的に描かれている。	貼られた付箋や鉛筆でのメモ書きは 水木の手によるもの。		



*写真と実物では色・デザイン・素材感が異なる場合がございます。あらかじめご了承ください。